

2023.04.21

政府、学術会議改正案の今国会提出を見送りへ

政府は 20 日、当初目指していた日本学術会議法改正案の今国会の提出を見送る方針を固めた。政府関係者が明らかにした。

改正案は、会員選考に第三者が意見を述べる「選考諮問委員会」を設けることなどが柱。しかし、第三者の介入を招き独立性を損ねるなどとして、学術会議側が反発。野党からも批判が出ていた。

毎日新聞 2023/4/20 14:34

過去記事でも、学術会議改正法案に関する問題点・疑問点の報道を紹介しましたが、とりあえずよかった

と思います。

ところが、自民党の世耕弘成参院幹事長は 21 日の記者会見で、日本学術会議の運営を巡り「公費が出ている以上、メンバーの人選は透明でなければならない」、「どうしても自分たちだけで人事を決めたいなら、例えば民間的な組織として自由にさせていただく選択肢もある」と述べたとのこと。

はっきりいってこの発言は「政府の法案に従わなければ金を出さない」という脅しではないかと考えられます。そもそもこの人は「税金を自らのポケットマネーであるかのように考えていないか」、という疑問を感じないではられません。

学術会議（欧米のアカデミー）は、政府と「問題意識や時間軸が異なる視点(例えば科学的な視点)から提言を行う」ところに価値があり、だからこそ公費で支えていくことが社会全体にとって有意義なのだ、と考えています。

このような組織に対して、「国とは別の組織にすれば良いのでは？」という声があることは事実ですが、前記事（時論公論）が指摘するように、「例えば独立行政法人のトップは所管する大臣が決めるため、政府から独立させることで、逆に独立性が低下する懸念、寄付文化の乏しい日本で資金をどこから得るかによっては中立性が損なわれる恐れもある」わけです。

「中立的・長期的な視点を提示するアカデミー（学術会議）」がその本来の役割を今後も果たしていくためには、世耕幹事長のような「脅し」や「自分たち（与党政治家）が金を出してやっている」といった「勘違い」は、極めて有害であるといわなければなりません。



[にほんブログ村](#)



← よろしければ一押しお願いします。一日一回が有効

教育問題に関する特集も含めて [HP しょうのページ](#)に

(yahoo geocities の終了に伴って HP のアドレスを変更しています。)

[「しょう」のブログ\(2\)](#) もよろしくお願ひします。[生活指導の歩みと吉田和子に学ぶ、『綴方教師の誕生』から…](#) ([生活指導と学校のカ](#)、[教育をつくりかえる道すじ](#) [教育評価1](#) など